

2. 品種の育成過程

- 育成経過図表：年度別交配方法など作業内容
- 品種育成過程の説明：育種の目的、追求する形質、経過別特異事項などを該当分野の専門性を持つ者が容易に理解できる程度に詳しく記載
- 育成系統図：世代別交配親など交配組合図表

品種の育成過程・特性説明関連法規

植物新品种保護法施行令第33条(品種の特性説明などに関する記載事項)

① 法第30条第2項第1号による説明書に書くべき事項は、次の各号のとおりである

1. 品種保護出願対象品種の特性および他の品種と明確に区別される特性
2. 品種保護出願対象品種の育成経過図表(説明書を含む)と育成系統図
3. 品種保護出願対象品種の栽培時の留意事項

② ①の各項は、該当分野の専門知識を持つ人が容易に理解できる程度に詳しく書かなければならない。

■ 育成過程例示(1)

ア. 品種育成経過図表

区分 \ 年度	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
品種収集および 順化								
系統育成								
交雑後代作成								
組合せ能力検定 および選抜								
生産力検定								
農家実証試験								

イ. 育成経過図表説明

1) 2007年～2010年：資料収集および系統育成

高温期着果および肥大力が優秀で、ネット発生が安定的であり、味が優秀な系統と球形でありネットが強い、耐病性高品質系の系統を育成するため既存の保有系統と日本から導入した“ABC（品種名）”など多数のアムス系メロン系統を収集し、目的により交雑して分離、選抜育成した。

2) 2009年～2012年：交雑後代作成、組合せ能力検定および選抜

目的に符合される系統を両親として交雑後代を作成し、この組合せについて能力検定を実施した結果ABC123-11-22-3-0-0 × ABD111-20-1-2-3-0の組合せが優秀であり選抜した。

3) 2011年～2014年：生産力検定、農家実証試験

選抜された組合せ(ABC123-11-22-3-0-0 × ABD111-20-1-2-3-0)を生産力検定試験および農家実証試験を実施した結果、性能が優秀であり“ABC”メロンとして品種保護出願を行う。

ウ. 育成系統図

年度	系 統 図		備 考
	(♀) 日本AA × Injen L	(♂) 嶺東 在来 × 台湾BB	
2005	5 × 10	8	品種検定，系統順化 および系統選抜
2006	7 × 3	10	“
2007	9 × 5	6	“
2008	10 × 5	7	“
2009	6 × 8	11	“
2010	0* × 0*	8	“
2011	0* ----- × ----- 0*		系統順化、父親因子分析
2012	0* ----- × ----- 0*		系統名付与と組合作 成
2013	0* ----- × ----- 0*		組合検定
2014	0* ----- × ----- 0*		採種試験と農家実証試験

0*：個体選抜はせず、兄妹交配種子を合わせたものを意味する。

■ 育成過程例示（２）

ア．育成系統図

年度	2010	2011	2012	2013	2014
世帯	人工交配	交雑後代(F ₁ V ₀)	V ₁	V ₂	V ₃
	‘AAABBB’ × ‘CCDDDD’	QR06-R33-1 ・ QR06-R33-156	QR06-R33-126	QR06-R33-126	QR06-R33-126 イエロウグラム
育成		156	1	1	1
備考		系統養成および 予備選抜	1次特性検定	2次特性検定 (農家実証)	3次特性検定 (農家実証、 選好度調査)

イ．育成系統図説明

2010年度に花色が黄色であるスタンダードバラ‘AAABBB’系統を母親(♀)とし、白色スタンダードバラ‘CCDDDD’品種を父親(♂)にして交配を行った。2011年に実生を養成して花色と花形が優秀な156系統を予備選抜した。2012年～2014年に1、2、3次特性検定と選好度調査結果、切花特性が優秀なQR06-R33-126系統を最終選抜し、‘イエロウグラム(Yellow glam)’とした。

ウ．育成系譜図

‘AAABBB’ (♀) × ‘CCDDDD’ (♂)
|
‘イエロウグラム(Yellow glam)’

3. 品種の特性説明

- [作物別特性調査要領]で定まる特性格別調査基準および方法により別紙の品種の特性表を作成して出願書に添付

作物別特性調査要領検索方法

※ 国立種子院ホームページ(www.seed.go.kr) ⇨ 左側下段 “今月の新品種現況”

表内 ⇨ “特性調査要領” ボタンクリック ⇨ 該当作物名検索

- 対照品種は出願品種と最も類似する品種を選定して特性調査時に同一場所で栽培して調査後記載
- 特性表には特性調査場所、調査者氏名、調査年度、対照品種名を記載
- その他育成者が必要と認める品種の特性(他品種と区別される特性)
- 作成方法は特性格別に表現形態に該当する階級値を階級欄(No)に記録し、実測値がある場合は実測値欄に記入

■ 品種特性表例示

- 植物の種類：大根
- 出願品種の名称：統一
- 出願人の氏名：洪吉東
- 特性調査者氏名：洪吉東
- 特性調査年月日：2012. 6. ～ 2013. 10.
- 特性調査場所：京畿道安養市萬安区安養6洞433番地、韓国種苗育種圃場
- 対照品種(最も類似な品種)の名称：素願

No	特 性	表現形態									出願品集		対照品種	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	No	実測値	No	実測値
1	排水性		2 倍 体		4 倍 体						2		2	
2	苗：胚軸のアントシアニン着色	なし								ある	1		1	
3	子葉：大きさ			小さい		中間		大きい			5		5	
4	葉：葉の付着部位の幅			狭い		中間		広い			5	2.7cm	5	2.5cm

4. 品種の特性記述書

- [作物別特性調査要領]で定める特性別調査基準および方法により別紙の特性記述書を作成し、出願書に添付する
- 品種の特性記述書には種名、学名、品種名、植物体の主要形態的特性、出願品種が対照品種(最も類似な品種)と区別される特性、出願品種の均一性と安定性を記述(対照品種含む)、遺伝子組換え技術による品種(LM0)の内容を記載

■ 品種特性記述書例示

1. 種名および学名 : 大根 <i>Raphanus sativus</i> L.
2. 品種名 : 統一(Tongil)
3. 植物体の主要形態的特性 ☞ 前述した【品種特性表】に記載した出願品種の主要特性を記述 - 2倍体で苗の胚軸のアントシアニン着色がある。 - 葉の長さは長い方である。 - 葉身の色は緑色であり、葉身の色が強さは若干濃い。 - 葉身の緑色強度は中間程度である。 - 葉縁の欠刻(きれこみ)があり、欠刻が深い。 - 葉身の毛は少ない。葉身の毛の強度は弱い。 - 根首部の幅は中間より広い方である。
4. 出願品種が対照品種と区別される特性 ☞ 前述した【品種特性表】で 出願品種と対照品種特性が異なる項目の特性を記述 - 生育初期、外側葉の展開が対照品種より開張性である。 - 葉の姿勢が対照品種は若干立つであるが、出願品種は完全立つである。 - 葉の小葉間葉柄の長さが、対照品種より短い。 - 葉身の先端の形状が対照品種は丸であるが、出願品種は尖っている。 - 葉身の横に切断した形状が対照品種は凹形であるが、出願品種は扁平である。 - 葉身の色強度が対照品種は淡いが出願品種は中間である。
5. 出願品種の均一性と安定性を記述(対照品種含む) - 1年次の栽培で異型株の発生がないので均一性要件を充足しており、2年次の栽培試験で均一性要件を充足したので安定性を持つと判断できる。

6. 出願品種を区別することに役立つ追加情報 6.1 耐病害虫性 6.2 品種試験のための特別な条件 6.3 その他の情報 ☞ 「品種特性表」にない特性として区別性がある場合、追加して記載することができる。
7. 品種育成に関する情報 7.1 上の品種は遺伝子組換え技術を利用して育成した品種(LMO)ですか? はい(), いいえ() 7.2 遺伝子組換え技術による品種(LMO)である場合、‘遺伝子組換え生物の国境を超える移動等に関する法律(制定2001. 3. 28法律第6448号、知識経済部)’により分野別農林水産食品部長官が告示した“遺伝子組換え農産物のリスク審査指針(農林水産食品部告示第2002-2号)”により環境リスク評価を行いましたか? はい(), いいえ() 7.3 関連規定により実験を実施した場合、環境リスク評価の審査結果を添付しましたか? はい(), いいえ() ※ 質問7.3で‘いいえ’に該当する場合、環境リスク評価の審査結果が提出される前には次の手続きが進行できません。 ア. 品種の審査(品種保護出願品種の場合) イ. 品種生産・輸入販売申告必証の交付(品種生産・輸入販売申告品種の場合)
8. 希望する栽培作型を表示して下さい。 春作(), 秋作() ※ 春作は4月、秋作は8月に播種します。

※ 次のような資料はできるだけ添付していただければ、均一性と安定性に対する審査時、参考資料として活用できます。

- 調査個体数および異型株数、反復間試験成績(均一性の根拠、1地域)
- 年次間試験成績(2年以上/1地域、安定性の根拠)
- 統計処理: ANOVA, t-検定またはLSD-1%, 5%
- 育成者が追加して品種の説明に必要と認める特性や資料